

【ZOOM開催】 会員研修のご案内

カウンセリングにおける問題の見立て と対応方針の立案

～迷う現場に、“使える見立て”を～



令和8年9月13日(日)
10:00～15:00

受講料：6,000円（税込）

協会会員以外は9,000円
（先着順、定員40名になり次第締切）

講師 杉原 保史 氏
臨床心理士・公認心理師
京都大学学生総合支援機構学生相談部門 教授

「見立てと対応方針」は、治療学派によって相当に異なるものですが、できるだけ学派を超えて共通する重要な考え方や工夫を易しくお話ししたいと思います。そもそも見立ては、セラピー他の要素（受容・共感・承認・傾聴・探索・介入など）から切り離して行うことができるものでしょうか？ 見立ては客観的で科学的に正しいことが最も重要でしょうか？ 見立てはセラピストが一人のことでしょうか？ 「見立てと方針」にフォーカスしながら、現場で出会う多様なクライアントに対してそこそこ有効に機能できるセラピストになるために大事なことを一緒に考えてみたいと思います。講義を中心に行い、その中で小グループでのディスカッションを行うこととしたいと考えています。

講座の申込：日本産業カウンセラー協会中部支部HP
「セミナー・講演会」お申込お願い致します。

問合せ：日本産業カウンセラー協会中部支部
TEL 052-618-7830